

○議長（井上勝彦君） それでは、順番10、16番 堀内君。

〔16番（堀内和久君）登壇〕

○16番（堀内和久君） 皆さん、おはようございます。議長のお許しをいただきましたので、初めての一般質問をさせていただきたいと思っております。ちょっと手際が悪いんですけども、お許しさせていただきたいと思っております。

大きく分けて三つあるんですけども、橋本市におけるエコライフについて。

東日本大震災以降、日々電力不足で節電が求められる中、この夏さまざまところでエアコン28度設定や太陽光パネル設置など、節電に貢献された方々がたくさんいると思われませんが、この冬はさらなる節電が求められると予想されます。そこで、ピンチを逆にチャンスととらえ、いろいろな節約・節電の延長関連で本市が未来に向けて支払うことに対し質問いたします。

①各課で対応の明かり・器具新設及び古い器具・故障器具の入れかえについて

②防犯灯、街路灯、遊歩道灯や市各課の明かり等の器具への太陽光つきLEDの設置について

③一般家庭では1kWh24円ぐらいだと思いますが、本市での契約はいかがですか。

④深夜電力での契約の割引はできますか。

⑤④ができれば、できるできないにかかわらず、電気自動車購入での補助、エコ事業、経費削減に前向きに進みませんか。

2番目です。中学生までの医療費無償化など、人口増に向けた取り組みについて。

近年、少子化が進む中、和歌山県ではこうのとりのサポート、紀州3人っこ施策など、子

どもたちの未来についての補助を行っています。

本市では、本年、市長の志において1月より小学生医療費が無償化になりましたが、9月議会で同僚議員の質問にあった、若い世代が橋本市に住居を構え生活していく上で、住宅補助や市外よりもいろいろな意味で「住んでよかったまち」「住みたいまち」を市長のお力で進めていただきたい、そのためにも現状にプラスした取り組みを実施していただきたいと質問いたします。

①中学生の医療費無償化について（実質費用はどれぐらいかかると思われますか）

②第3子に対する市独自の助成について

③本市での妊婦・妊娠中の専門相談所や県の補助について

④本市に住居を構える場合の住宅補助について

⑤先ほどの大項目1で削減できるであろう経費を①から④の施策の費用に利用できないか。

3番目です。私の地元のほうになるんですけども、南馬場緑地公園進入箇所への信号機設置要望について。

橋本高野橋が開通する数年前、警察署交通課に国道370号線から南馬場緑地公園への進入箇所に信号機設置の要望が過去に出されていきました。が、交通量が少ないという点で、残念ながらよい回答はいただけませんでした。これは仕方のないことだと私も思っております。

しかし、橋本高野橋が開通して交通量が増え、河南地区発展の大きな道になりつつあると同時に、交通安全にも注意しなければなら

ないと考え、今回、信号機設置の要望を復活させたく、お尋ね申し上げます。

①本市は国体のソフトボール会場になりますが、安全強化に向けて何かお考えですか。

②本市より国体に向けて信号機設置に対して強い要望を出していただけますか。

以上、壇上からの質問を終わります。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君の一般質問に対する答弁を求めます。

総務部長。

〔総務部長（那須浩二君）登壇〕

○総務部長（那須浩二君）はじめに、防犯灯の器具入れかえなどの状況についてのご質問にお答えいたします。

議員おただしの電灯の入れかえ状況についてですが、市民安全課が管理する防犯灯は89灯あり、維持管理としてはランプや器具のメンテナンスが年に1回程度は必要で、蛍光灯などの交換を行ってまいりましたが、平成22年度に管理する防犯灯81灯を従来の蛍光灯などから省エネルギー型のLED防犯灯に切りかえたために、CO<sub>2</sub>の削減効果やLEDの特徴でもある長寿命により維持管理の負担も軽減しています。

防犯灯電気料金については、平成22年と平成23年の4月同月を比較しますと、2万8,118円から1万6,388円と、1カ月で1万円以上削減され、41.7%の削減の結果となり、その削減効果については大きなものがあります。

次に、おただしの太陽光つきLEDの設置についてですが、確かに太陽光つきLED化することで電気代が削減できますが、市民安全課が管理する防犯灯は、そのほとんどが関西電力の電柱に共架したものであるため、太陽光つきLEDにするためには、別にポールを立てて防犯灯を設置する必要があります。その分だけ改めて費用が必要となります。新たな予算措置が必要となりますので、今後、防犯

灯を新たに設置する際には、議員ご提案の太陽光つきLEDの導入について検討してまいりたいと考えます。

次に、エコライフの③についてのおただしでございます。議員の示されている一般家庭とは従量電灯Aを指されているかと思われませんが、市の契約している電力契約は本庁舎、教育文化会館、市民会館、北別館を高圧電力ALで契約しており、1kWh当たり約11円となります。

次に、④の深夜電力契約での割引についてですが、関西電力株式会社に問い合わせたところ、契約は可能との回答でした。ただし、契約にあたり専用のメーターを設置し、特定の機種に限っての契約となります。

⑤についてですが、平成21年度におきまして、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業として26台公用車を購入しており、このときの購入車両は、平成22年度燃費基準達成車、いわゆる3スター、環境対応車でございます。

本市といたしましても、今後もエコ事業、経費削減には最善の努力をし、また電気自動車購入についても市場の動向に注意しながら前向きに検討してまいりたいと考えますので、ご理解を賜りたいと考えます。

○議長（井上勝彦君）建設部長。

〔建設部長（松浦広之君）登壇〕

○建設部長（松浦広之君）建設課で対応の街路灯の器具新設及び古い器具・故障器具入れかえについてと、太陽光つきLEDの設置についてのおただしにお答えします。

現在、市が道路管理者として交通上の安全確保を目的に902灯の街路灯を設置管理しています。平成22年度末時点ではすべてが蛍光灯及び水銀灯タイプであり、その維持管理費としまして、平成21年度決算では、電気料として560万円、修繕費55万円の計615万円、平成22年度決算では、電気料574万円、修繕費64

万円計638万円を支出しております。

この街路灯すべてをLED化した場合、電気料だけを考えれば約40%程度の削減になる見込みで、年間約230万円の維持管理費の削減となるものと予想しております。

今年度においては、902灯のうち113灯については国庫補助事業によりLED灯につけかえが完了しており、今後も高率な国の補助事業等があれば積極的に取り組んでまいります。

また、新設時及び古い器具・故障器具の入れかえ時についても、メンテナンス及びつけかえコスト等を検討した上で、財政事情の許す範囲内でLED化を進めることを基本として、今後も計画的に進めてまいりたいと考えます。

次に、太陽光つきLEDの設置についてのおたしですが、エコ、節電、維持管理の観点からも推奨すべきであると考えますので、財政状況も踏まえながら、試行的な設置に向け検討してまいります。

○議長（井上勝彦君）理事。

〔理事（吉田長司君）登壇〕

○理事（吉田長司君）はじめに、橋本市に住居を構える場合の住宅補助のご質問にお答えいたします。

本年9月議会で森下議員にもお答えさせていただきましたとおり、少子化が進む昨今、地域経済の基盤となる人口の減少は重要課題であり、本市においては長期総合計画の基本目標である「活力ある産業を育成し若者が定住できるまちづくり」「健やかで安心して暮らせるまちづくり」を実現するため、企業誘致を促進し、市民の雇用の場の確保と定住促進、福祉・医療・防災などの各分野における取り組みを推進しながら、人口減少に視点を向けた総合的な施策を継続し取り組んでいるところです。

ご質問の橋本市に住居を構える場合の住宅

補助につきましては、大阪の都心まで約1時間という本市の地理的条件を生かし、若年層の定住促進と地域の活性化を図るための施策の一つとして平成23年6月に職員から提案され、引き続き市内部で検討しているところで

す。  
現在、家屋取得状況や若年層の転入状況を把握し、補助対象物件や補助対象者の範囲など具体的なシミュレーションを行っており、「新婚所帯新築住宅補助事業」として導入について判断してまいりたいと考えております。

次に、LED及び太陽光設置などにより削減できた経費を医療費、市独自助成、専門相談所、住宅補助等の施策に利用できないかのご質問ですが、初期導入費用なども考慮しますと削減となる額が不明瞭なところもあり、現状では削減効果額として事業に充当できる具体的な財源となり得ない状況であり、将来の課題といたしたく思います。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

次に、南馬場緑地公園信号機設置要望についてのご質問にお答えいたします。

国道370号線について、平成18年、橋本高野橋が開通し、高野山方面への通行が便利になったため、以前より観光バス等の交通量が増えているのは確かであると思います。

まず、当該交差点の北側にある紀の川河川敷の南馬場緑地は、平成27年開催の紀の国わかやま国体の少年女子のソフトボール会場に予定されています。したがって、大会が開催されます3日間については、観光バスや多くの自家用車などの出入りが予想されます。

本年、山口国体の視察をしましたが、報告によりますと、交差点のみにかかわらず、駐車場の出入り口などの要所にはかなりの警備員が配置されているようです。当然、橋本市といたしましても、交差点や信号機の有無にかかわらず、要所にはかなりの人数の警備員

を配置しなければならないと考えています。特に議員ご指摘の場所については、変則的な交差点であるので、今後必要数の警備員配置計画を検討していきたいと考えております。

次に、国体に向けての信号設置要望についてですが、これに関しては平成23年10月12日付で南馬場区長より市長あてに信号機の設置に係る上申依頼がありました。これに対しては、市内部で検討した結果、10月27日付で橋本市長から橋本警察署長あてに信号機の設置要望についての要望書を橋本市長名で提出していますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

○議長（井上勝彦君）健康福祉部長。

〔健康福祉部長（上田敬二君）登壇〕

○健康福祉部長（上田敬二君）中学生の医療費無料化についてお答えします。

議員のご質問の中にあります「若い世代が生活しやすいように、そして住んでよかったまち橋本」をめざし、本市は今年1月から小学生の医療費無料化を実施しています。この小学生医療無料化につきましては、国・県の補助がないため自治体独自の政策となり、実施している自治体はまだまだ少ないのが現状です。その中でも本市は若い世代への負担軽減策、子育て支援施策として、他の自治体より一歩前へとその取り組みを進めてまいりました。

議員おただしの中学生の医療費無料化につきましては、県下でも既に取り組んでいる自治体はありますが、いずれも人口規模の小さい、つまり中学生人数の少ない小さいまちでの実施であります。市の規模になりますと、どうしても財政負担が大きくなり、小学生医療の無料化でさえなかなか実施できていないのが現実であります。

次に、中学生の医療費無料化を実施した場合の費用についてお答えします。

まず、既に実施しています小学生医療費に係る費用は、制度が定着してきた平成23年3月分から8月分までの診療分について報告させていただきますと、月額平均医療費は約620万円でした。この数字を単純に中学生に当てはめてみますと、中学生は小学生6学年の半分3学年なので、2分の1を掛けますと月額平均医療費は約310万円となります。年間支出額は、この金額に12カ月分を掛けると約3,720万円となります。

また、これとは別に中学生の医療費無料化を実施することになると、既存のシステムを再度改修する必要があり、初年度には小学生医療に要した約1,500万円と同様のシステム改修が必要となります。さらに、国保連合会や社会保険診療基金への審査支払手数料も小学生医療の半分として、毎年125万円の手数料がかかってきます。

したがって、中学生医療を開始した場合、初年度は5,345万円、次年度以降は毎年3,845万円の費用が必要となってきます。小学生と中学生では心身の発達度合いや生活態度の差異など多くの要素が入ってくるため、単純に小学生医療の2分の1とはなりません。これらの費用は計算上の数字として算出いたしました。

この中学生医療費無料化につきましては、今後進めていきたい事業の一つではありますが、限られた財政の中、今何を優先すべきかを見きわめながら、バランスのとれた行政を進める中で今後とも検討していきたいと考えています。

次に、第3子の子どもに対する助成についてお答えいたします。

本市は市独自の助成は行っていませんが、現在、和歌山県が実施する「紀州3人っこ施策」の中で、県費補助2分の1を受けながら「橋本市三子以上に係る育児支援事業」を実

施しています。本市に住民登録をし、就学前の子を含め小学生以下の子を3人以上養育している家庭に1世帯当たり年間1万5,000円を限度に、一時保育事業、ファミリーサポートセンター事業、子育て短期支援事業の利用に対する助成を行っています。

またほかにも、市独自の制度ではありませんが、国と県が進める第3子以降の保育料無料化制度があります。これらも、市は応分の負担を負いながら少子化対策、子育て支援を行っているものでございます。

以上、これら事業について周知に努めるとともに、引き続き体力に見合った各種事業を実施していくことで、今後とも第3子以上の子育て支援を進めてまいりたいと考えています。

次に、本市での妊婦・妊娠中の専門相談所や県の補助についてお答えいたします。

妊娠中の専門相談所については、妊娠中は受診している医療機関がその窓口となるため、産婦人科医が対応しています。転入の方々等、本市の状況を知らないため相談していただく場合は市町村が窓口となっています。

不妊についての相談は「このとり相談窓口」として和歌山市保健所、県立保健所では岩出、湯浅、田辺保健所の3カ所で実施しています。電話や面接による相談はありますが、ほとんどの方が医療機関に直接相談されます。

県の補助については、国から交付された妊婦健康診査臨時特例交付金により県に積み立てた基金を財源として、各市町村が実施主体となって妊婦健康診査費助成事業を実施しています。これは、妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産ができる体制を確保することを目的としています。

現在14回の妊婦健康診査費用の公費負担が助成され、第3子以上の妊婦さんには、これ

に加えて上限1万円が助成されています。本市ではこの制度の周知について、妊婦さんが母子健康手帳の交付を受けるために窓口に来庁された際に説明し対応しています。

また、妊娠までの支援には県が推進している「このとりサポート」があります。これには一般不妊治療事業と特定不妊治療事業があります。市町村が実施主体である一般不妊治療費助成事業では、年間3万円を上限とし、連続する2年間の助成をしています。また、県が実施主体となっている特定不妊治療助成事業では、1回につき15万円を上限に1年度当たり2回まで、通算5年間で10回まで助成しています。

市としては、妊娠までの支援と妊娠中の支援については県の助成事業に基づいて実施しており、さらに市単独での補助は財政状況から難しいものと考えます。

今後も広報やホームページなどを通じて、これらの制度を利用していただくため、広く市民の皆さんに周知してまいります。

○議長（井上勝彦君）この際、16番 堀内君の再質問を保留し、10時50分まで休憩いたします。

（午前10時34分 休憩）

（午前10時50分 再開）

○議長（井上勝彦君）休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程に従い一般質問を行います。

16番 堀内君、再質問ありますか。

16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ご答弁、ありがとうございました。順を追って再質問させていただきたいと思うんですが、先に3番のほうに行かせていただきたいと思います。

信号機設置要望について、かなり前向きなお答えをいただきましたので、再質問という

のはほとんどなくなってしまったんですけども、①の安全強化に向けてという再質問なんですけども、今回のように災害等、台風とかグラウンドがつかってしまったりとか、そういう面で予備グラウンドとか、もしこの質問がだめでしたら結構です、お考えですか。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君の再質問に対する答弁を求めます。

理事。

○理事（吉田長司君）昨日の質問とも関連しますけれども、南馬場緑地で行うとなりましたら、そういうことを考慮していかなければいけないということで、その辺については固まっておりますけれども、協議を開始しているところということで、これからの課題ということで考えております。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。この3番の項目ですが、端に選果場もありますし、信号機の要望が出ているということで、これぐらいで終わらせていただきたいと思えます。

次、1番に戻りまして、40%の節電により建設課、総務課でほしい300万円弱ぐらい浮いてくるというふうに僕のほうで計算してんですけども、防犯灯等は教育委員会並びに各区にもありますし、そういったところでちよとずつでも壊れたところがLEDに変わっていくというのが今後当たり前やと思えます。浮いた分というのはかなりエコになるので、すごくありがたい答弁をいただいたので、再質問というのはものすごい難しいんですけども、建設部長にお尋ね申し上げます。

今後、新設の際に見積もりの段階でLEDが当たり前になってくると思うんですけども、同時に設計の段階で太陽光つきLEDを推進してはいかがでしょうか。

○議長（井上勝彦君）建設部長。

○建設部長（松浦広之君）一応インターネット等でいろいろ調べましたところ、いろんな意味で、設置時のコストでありますとか、その後にかかる費用というのがシミュレーションできますので、どのぐらいの年数でどのぐらいの経費が浮いてくるということも計算上は勘案できます。

ただ、実際、太陽光パネル等につきましては、バッテリーの問題等もありますので、現実的にどの程度、本当に経費の節減になるのかということも実証的な実験という意味で試行的に設置していきたいなど。決して本格的にやっていくということではなくて、機会があれば、議員おただしのおり設計の中へ組み込んで試行的にやってみたいというふうに考えます。

以上です。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。ものすごい前向きな意見なので、今後、これに関連する補助金も期待されると思えますし、橋本市もエコの推進のまちのイメージで高評価されて、来ていただいた方の記憶に残ると思えますので、要望しておきます。よろしくお願ひします。

次、③なんですけども、一般家庭は24円、本市は高圧の契約ですから、どこの民間企業でも契約というのはいろいろ金額が違うと思うんですけども、本市は11円というありがたい契約料金になっています。

④の深夜電力というのは、住宅とか、住んでいく上での蓄電とか蓄熱に関しては今いけると思うんですけども、ただ、この⑤に関しての電気自動車の充電時というのはまだ認められていないと思えますので、あえて深夜電力という再質問は外させていただいて、一般家庭において24円から11円、この差額に対

してですが、これをうまく利用していく上で⑤を質問させていただきたいんです。

本市で車というのが、消防とかいろんな、公民館に1台ずつあったりとか、だいたい290ぐらいあると思うんです。常時使われているの、上下水道部であったりとか、総務であったりとか、建設はもちろんのことなんですけども、今回ちょっと絞って、軽の箱バン、軽四、通常の乗用車でご質問したいんですけども、だいたい本市では1台当たりのガソリン代というのはどれぐらいかというのは、どなたでも結構ですので、わかる方、お答えできますか。なければ結構です。

○議長（井上勝彦君）総務部長。

○総務部長（那須浩二君）総務部の集中管理で管理している車のガソリン代から試算しますと、1台当たり年間約11万円でございます。

以上です。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。総務部長に答えていただいたので、例を総務部の車にたとえていかせていただきたいと思います。

1台当たりがだいたい十一、二万円ということで、これを電気自動車もしくは第3のエコカー、いろいろ経費節約に向けてこれからいろんな新しい車というのが出てくると思うんです。電気自動車に関してですけども、まず保険とか税金がかなりお安くなると思います。一度に全部買いかえるというのは不可能なんですけども、当然のことですが、消防、公民館は別として。

これは私の調べなんですけども、あるネットで車関係のウェブで調べさせていただいたんですけども、一般において100km走行、走る分で充電が約200円ですね、通常、一般家庭において。ガソリン代が今10140円ぐらいだと思ってるんですけども、これをだいたいリッター

10km走る車として計算して、この差額なんですけども、電気自動車が満タンで150km走れる分母になります。150km走行としてだいたい300円。ガソリン車でしたら150kmで2,100円。だいたい7分の1ぐらい節約になると思います。本市の契約が11円なので、それを分母に当てはめると14分の1以上お安くなると私は思います。

さらに、近い将来いろんな車とか出てくるので、その計算式というのはこれ以上高くなることはないと思いますし、CO<sub>2</sub>削減にもなります。本市で壊れた車、車検、あと走行距離等で買いかえというのが毎年あると思うんですけども、それに向けて電気自動車等の購入というのはお考えですか。

○議長（井上勝彦君）理事。

○理事（吉田長司君）現在建設中の保健福祉センターでございますけれども、この建築のポリシーの中に環境に優しいということがございます。そういうことで、現在、充電所も含めまして2台、公用車で使っていきたいなという計画をしているところでございます。初めての電気自動車を公用車に使うというのが保健福祉センターになろうかと思っております。

以上です。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。保健福祉センターで2台入るという答弁をいただいたんですけども、先ほども申しましたように、壊れた車、買いかえの車というのがこれから毎年ついて回ると思うんですけども、前向きに検討していただきたいということを含めて、それと、またつけ加えてなんですけども、壊れた車などを地元で買いかえていただく上で、例えば新車で今の軽のガソリン車の箱バンなんですけども、金額的には百五、六十万前後すると認識しておりますが、今、大分、電気自動車のほうも安くなってきて、

170万円から、補助金を差し引いた上なんですけども、だいたいそれで一般家庭に届く、割と大差のない金額になってきてますので、そこも検討いただくと同時に、災害時とか、あと、こちら辺でしたら南海地震というのが予測されるんですけども、この電気自動車というのは各区とか公民館とか避難場所に対して、設置条件というのはいろいろあるんですけども、電気を運んでいくとか、そういう面でかなり活躍することが期待されると個人的には思いますので、これを強く要望させていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

次に、2番に移りたいと思います。今回、私が議員になってこれを一番やりたいと思って、ずっと推進させていただいて、今後も推進していただきたいと思うんですけども、先に②③④について再質問させていただきます。

財政難の中、恐縮ではあるんですけども、新たな命に対する思いをプラス本市で取り組みというのは実際のところお考えですか。

○議長（井上勝彦君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（上田敬二君）先ほども答弁させていただいたところですけども、妊娠までの支援、妊娠中の支援、これらについては、現在、県の助成事業に基づいて実施しております。かなり充足しているものと考えておまして、さらに市単独での補助につきましては、現在の財政状況から難しいものと考えております。

以上です。

○議長（井上勝彦君）理事。

○理事（吉田長司君）項目の4点目でございますけれども、これにつきましても、1回目の答弁させていただいたとおり、実施に向けた検討をしているということで、何らかの形であらわれてくるんじゃないかなというふうに考えております。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。

③なんですけども、専門の相談所、こちら辺でしたら岩出というふうに、先ほど答弁いただいたと思うんですけども、できれば橋本市内に相談所があればありがたいかなと思いますので、それもできれば要望いたしたいと思います。

そして、この県の補助事業というのがものすごくいいことであると私も思うんですけども、この補助やサービスが全体にまだ知られてないという可能性も多々あると思いますので、ホームページや広報だけでなく、例えば区の掲示板であったりとか、役所館内はもちろんのことなんですけども、もっとこう、言うたと伝わったというのはやっぱり違うと思うので、できるだけ伝わっていく手段というのを要望いたします。

最後に、①と⑤なんですけども、中学校医療費無償化についての実質の費用、私はだいたい3,500万円ぐらいかなという計算でお手元に資料を配付させていただいたんですけど、ご答弁ではちょっと高い計算かなというふうになっておると思います。

私が言いたいのは、これから未来にいろいろ支払っていく分、電気自動車であったりとか、LEDになって、平成21年、22年、今23年なんですけども、これからグラフというのが絶対出てくると思うんです。当初支払っていた金額より少しでも浮いた分、分母が不明やというのも確かにあるんですけども、実際のところ、これ、建設課、総務課のLED化で300万円弱浮くと。電気自動車に関して、壊れたものの買いかえですから、民間ではないので、もとを取ろうという計算はしなくていいと思うので、ガソリン代等保険等で浮いた分、ちょっとずつ積み重ねた分というのが、この中学校の医療費になってくれれば一番あ



りがたいなという上で僕は質問させていただくんです。

資料なんですけども、新聞の切り抜きを張らせていただいているんですけども、この当時、小学校の医療費が無償になったということで、だいたい、ごみの減量化というので7,000万円ぐらいの見込みで1億2,000万円ぐらい用意するというふうに私はこの新聞を解釈したんですけども、このとき予算書を見ますと、平成22年6月の補正予算で3,000万円、その翌年、当初予算になると思うんですけども、3月で9,700万円、実際1億2,000万円強の予算というのが計上されていると思います。

単純な引き算なんですけども、今ちょうど12月で、この1年間実施というのが今月末でかかった分というのは、実際支払う分というのはわかると思うんですけども、1億2,000万円強引く実際かかった費用、この分というのは、お金に色がついているわけではないのでわからないと思うんですけど、この分というのはどこへ行くのか、お答え願いますでしょうか。

○議長（井上勝彦君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（上田敬二君）1億2,000万円は、当時、乳幼児医療費を参考にしました概算の金額でございます。しかし、小学生医療を当初予算に計上するにあたりまして、さらに精査し試算した結果が9,768万円でございます。当初の1億2,000万円と差異があるんですけども、精査した結果としてお受け取りいただきたいと思います。

また、余ったお金、浮いたお金があるので、それを中学生医療に回せないか、端的に言いましたら、そういうおたしだと思ってしまうんですけども、政策とか事業を市において実施していく場合、市全体の中でその事業が今本当に必要か優先順位を、各事業、さまざまな事業ありますけれども、優先順位をつけていくべきものだと考えております。

限りある予算でございますので、市民にとって、今、一番何が大事なのか優先して事業を実施していくべきものであるか、それを見きわめながら、政策調整会議等で箇所づけ、順位づけを行っておりますので、ご理解いただきたいと思います。中学生医療につきましても、そういう物差しといいますか、尺度で判断していきたいと思っております。

以上です。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。実際、優先順位と言われると、私も中学校医療費が一番なのかと言われると、十人十色と申しますか、皆さん、年齢層、性格それぞれあると思いますので、今の私の意見としましては、私はまだ35歳で若輩の身分であるんですけども、やはり小学校・中学校の子どもさんを抱える取り巻きが多い中、この質問というのは自分の議員としての生命線やと思っておりますので、何とぞ前向きなご検討を要望いたしたいと思っております。

○議長（井上勝彦君）堀内君、要望はなくて、答弁をいただくように。

○16番（堀内和久君）済みません。最後になりましたが、輝かしい未来ある子どもたちの先行投資という一つの希望としまして、和歌山県の市で実施しているところというのは、町では何件かあるんですけども、市では初めてやと思っておりますので、最後になりますけども、市長もしくは副市長の熱意というか希望というか、聞かせていただけたら。

○議長（井上勝彦君）市長。

〔市長（木下善之君）登壇〕

○市長（木下善之君）堀内議員の再質問にお答えをいたしたいと思っております。

非常に当を得た質問が多くあるわけでごさいます。何とか努力せいかんなど私も思うわけでありますが、何といたしても、や

はり一番大事なことは財政の健全化ということ、これが前提に立って市行政というのをやっていくわけでありますので。

私としても幾つかあるんです。例えば環境問題は今非常に世界的にやかましく言われておりますので、すべて環境につながることをね。これが日本で一番進んでおるのは橋本市やなどと言っただけのようなものをそろえられんやろうかなど。例えば太陽光パネルをつける場合には奨励金を出しますよとか、電気自動車を買う場合には何十万円か1台に出しますよとかね。

今質問のある医療費無料化の問題、何といましても、やっぱり子育てが一番大事であるという観点で私は、相当大きな金額であります、小学生の医療費無料化を。中学生はいろいろ検討したんですが、余裕があれば。優先順位がまだちょっと一番になってないんですわ。なぜかというと、中学生というのは体力を増強する、健康の面で非常に力がついてくるんですよ。中学生は活発に運動してもらい以外にないなど。それは不幸にも病気になる場合もあるでしょうししますけども、思惑、中学生は医療費は少なくて済むなということも視野に入れております。

そんなことで、またLEDの問題、これはどんどんと時代の変遷で当然やと思うんです。これは経費の節減にもつながっていくわけでありますので。きょう多くのご意見をいただきましたので、できるだけ前向きに全般的に取り組んでまいりたいと思っております。実際どれがどこまでということは差し控えさせていただきますと思います。ご容赦をいただきますと思います。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）温かいご答弁、ありがとうございました。何事も割と前向きな答弁をいただきましたので、初めての手際の悪い

一般質問ではありますが、ありがとうございます。

最後に、今回、一般質問にあたり仕事に手をとめていろいろご指導くださった各課の課長並びに職員、議会事務局にお礼を申しまして、このまま初心を忘れず、次回の一般質問で中学校医療費ももう一度耕していきたいと思っております。

以上で一般質問を終わります。

○議長（井上勝彦君）これをもって、16番 堀内君の一般質問は終わりました。